

## 令和2年度 市政に関する意識調査結果

- 1 調査対象者 福岡市内に居住する満 18 歳以上の男女
- 2 調査対象者数 4, 500 サンプル（回収数 2, 410 サンプル）
- 3 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出法
- 4 調査方法 郵送法
- 5 調査期間 令和2年7月～8月
- 6 設問数 37問（うち、農業に関する設問：9問）

## 【調査項目】

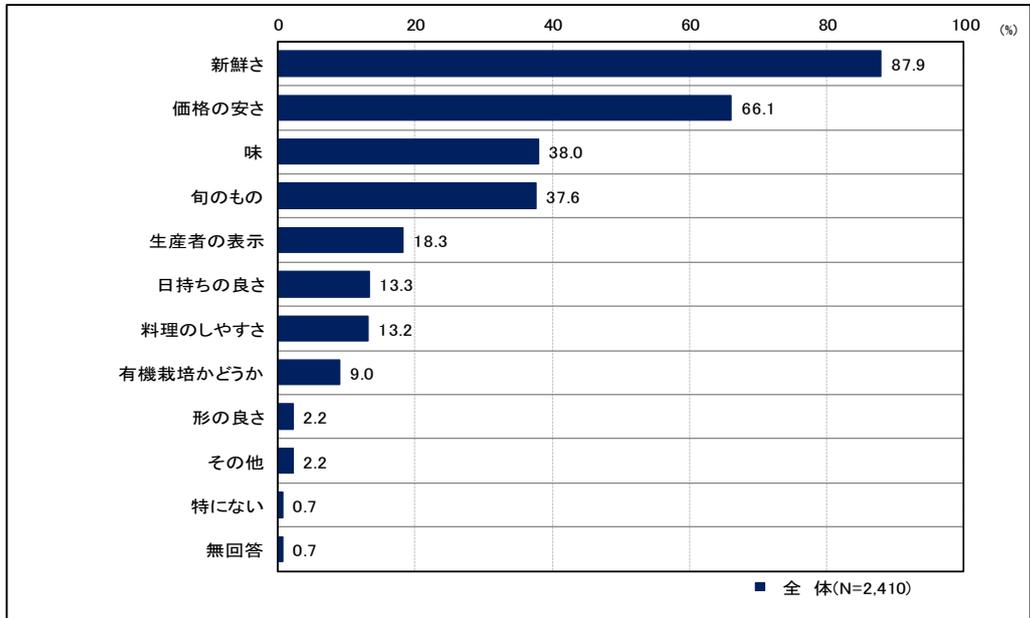
### <農業>

- 農産物や農産加工品を購入するとき、どのようなことを重視しているか
- 国産の農産物や農産加工品を購入するとき、市内産を優先して購入しているか
- 福岡市内で、地産地消や農畜産物の消費拡大などのため運営されている直売所について、知っているか。また、行ったことがあるか。
- 市内産農産物や農産加工品の販売を促進するために、どのような取り組みが必要だと思うか。
- 過去3年間に、農業と身近に接した経験があるか。
- 農業に接する場として、参加しやすいと思うものはどのような場か。
- 農業の本来の役割である食料の安定供給のほかに、農業がもつ重要な役割は何か。
- 福岡市が、今後重点的に取り組むべき農業施策は何か。

農産物や農産加工品を購入するときに重視していること

**問** あなたのご家庭では、農産物や農産加工品を購入するとき、どのようなことを重視していますか。特にあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

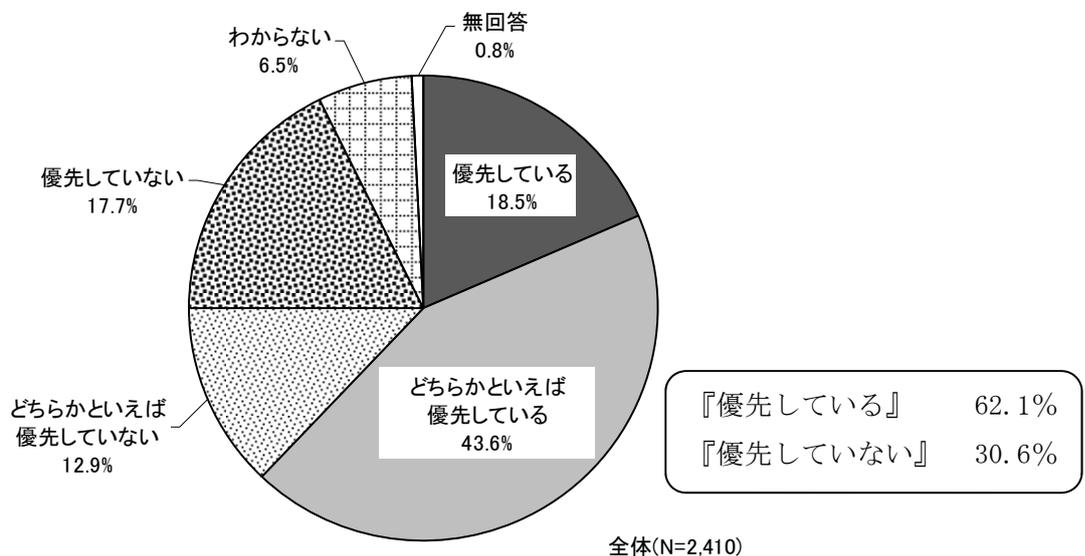
家庭で農産物や農産加工品を購入するとき、どのようなことを重視しているかを聞いたところ、「新鮮さ」が87.9%と最も多く、次いで「価格の安さ」(66.1%)、「味」(38.0%)、「旬のもの」(37.6%)となっている。



国産の農産物や農産加工品購入するときの市内産優先意向

**問** あなたのご家庭では、国産の農産物や農産加工品を購入するとき、市内産を優先して購入していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

市内産を優先して購入しているかどうかを聞いたところ、『優先している』(=「優先している」+「どちらかといえば優先している」)の割合は62.1%となっている。一方、『優先していない』(=「優先していない」+「どちらかといえば優先していない」)の割合は30.6%となっている。

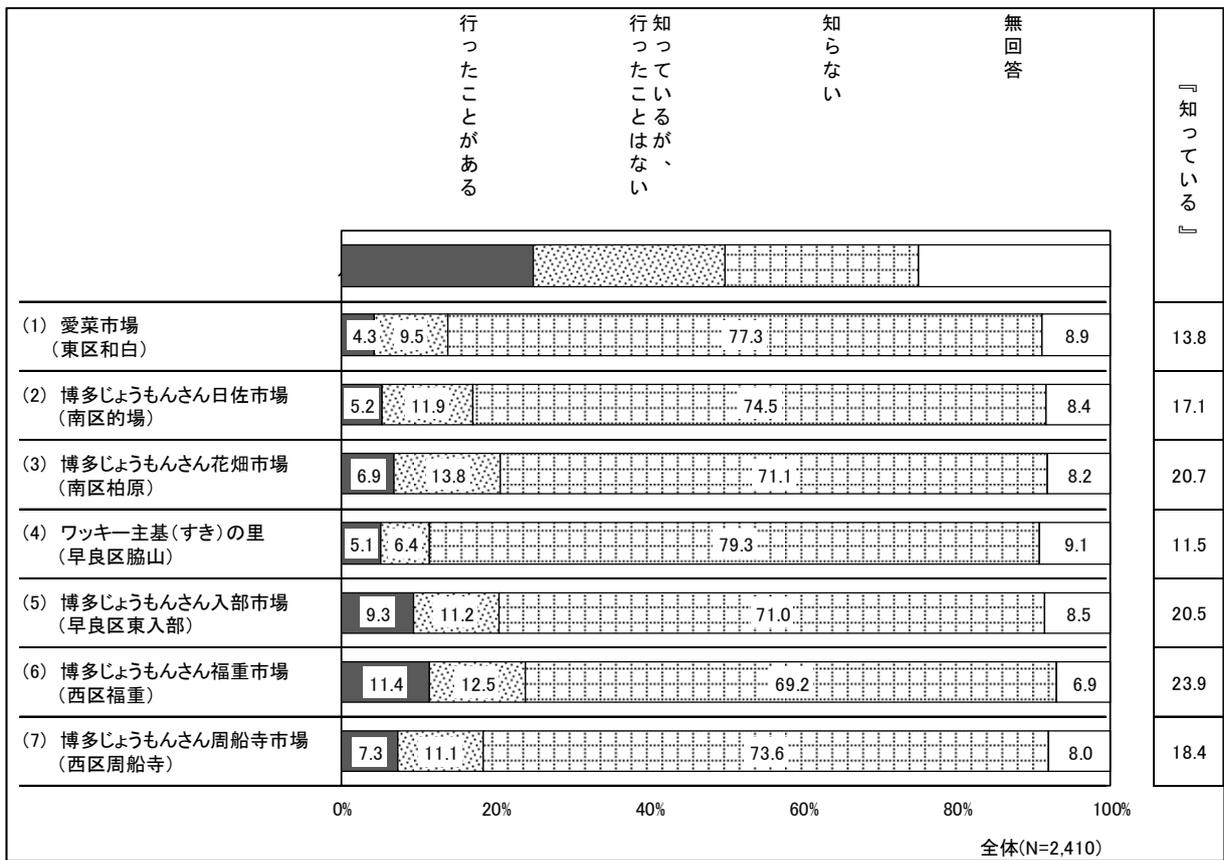


農畜産物の直売所の認知度

問 あなたは、福岡市内で、地産地消や農畜産物の消費拡大などのため運営されている次の(1)～(7)のそれぞれについて、知っていますか。また、行ったことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

福岡市内で、地産地消や農畜産物の消費拡大などのため運営されている7つの直売所について聞いたところ、「行ったことがある」では博多じょうもんさん福重市場（西区福重）（11.4%）、「知っているが、行ったことがない」では博多じょうもんさん花畑市場（南区柏原）（13.8%）が最も多くなっている。

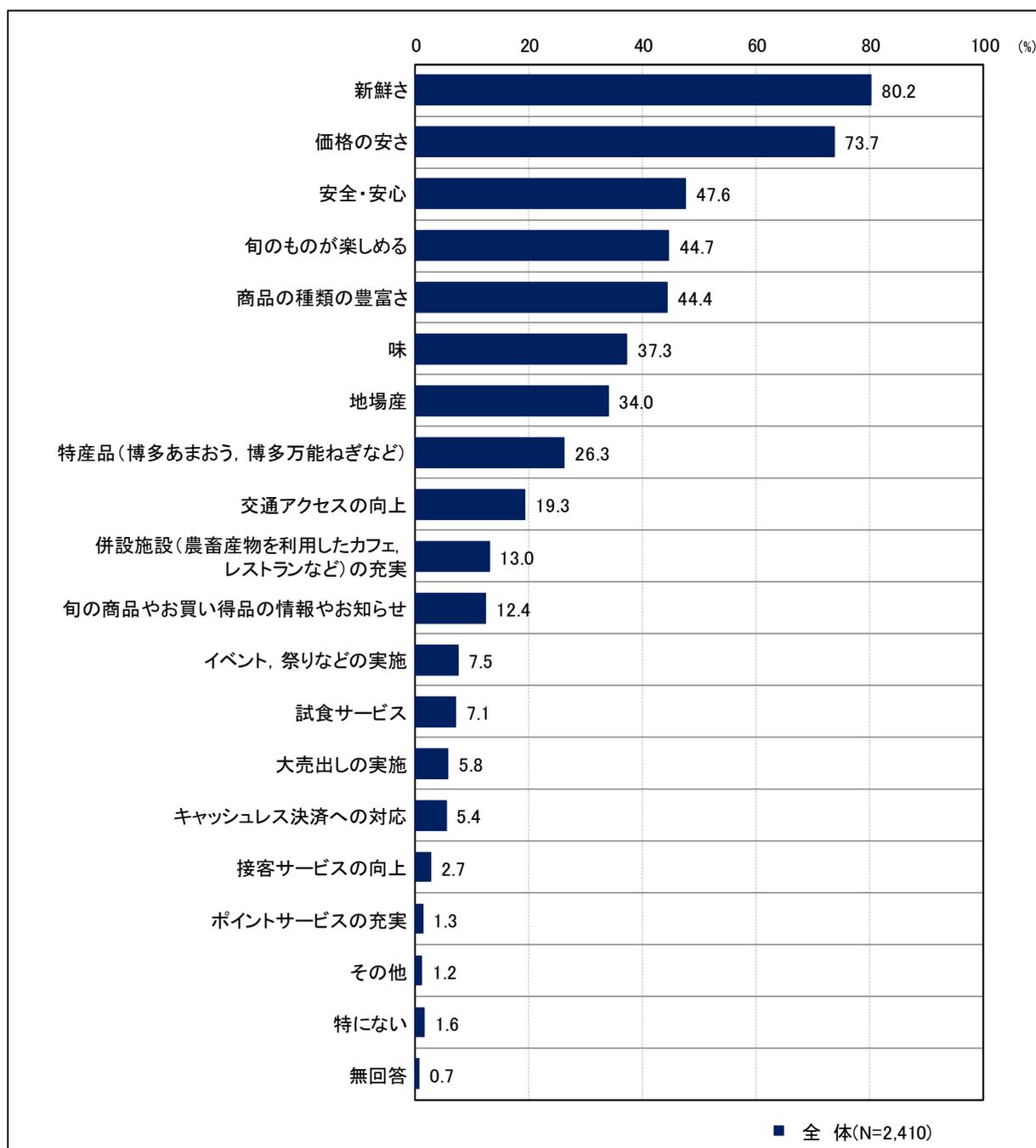
『知っている』（＝「行ったことがある」＋「知っているが、行ったことがない」）の割合は、博多じょうもんさん福重市場（西区福重）が23.9%と最も多く、次いで博多じょうもんさん花畑市場（南区柏原）（20.7%）、博多じょうもんさん入部市場（早良区東入部）（20.5%）となっている。



## 農畜産物の直売所に期待すること

問 あなたが、農畜産物の直売所に期待することは何ですか。特にあてはまるものを**5つまで**選び、番号に○をつけてください。

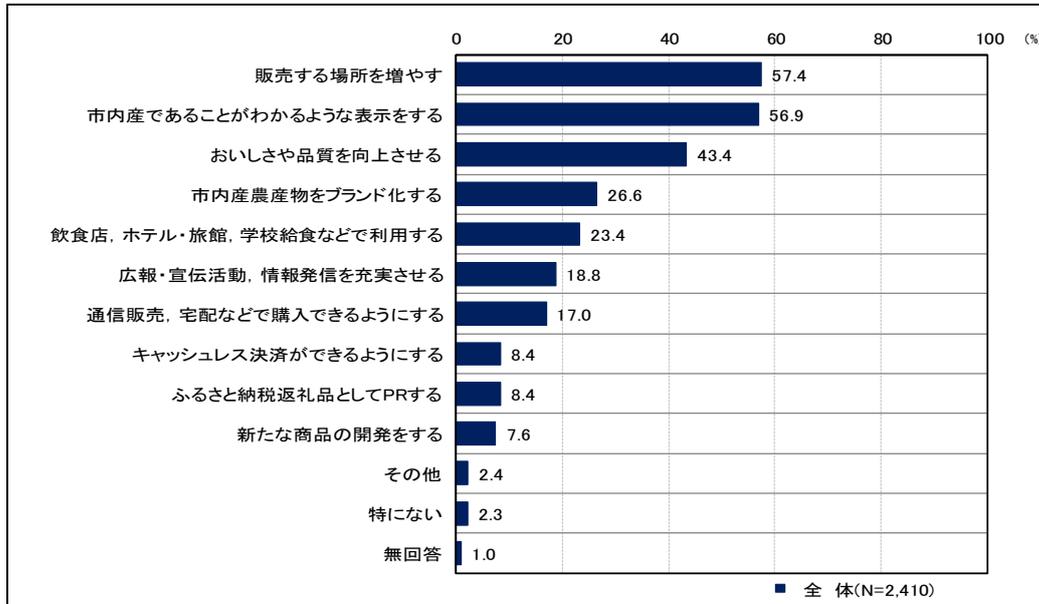
農畜産物の直売所に期待することを聞いたところ、「新鮮さ」が80.2%と最も多く、次いで「価格の安さ」(73.7%)、「安全・安心」(47.6%)、「旬のものが楽しめる」(44.7%)、「商品の種類の豊富さ」(44.4%)となっている。



市内産農産物や農産加工品の販売を促進するために必要な取り組み

**問** あなたは、市内産農産物や農産加工品の販売を促進するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。特にあてはまるものを**3つまで**選び、番号に○をつけてください。

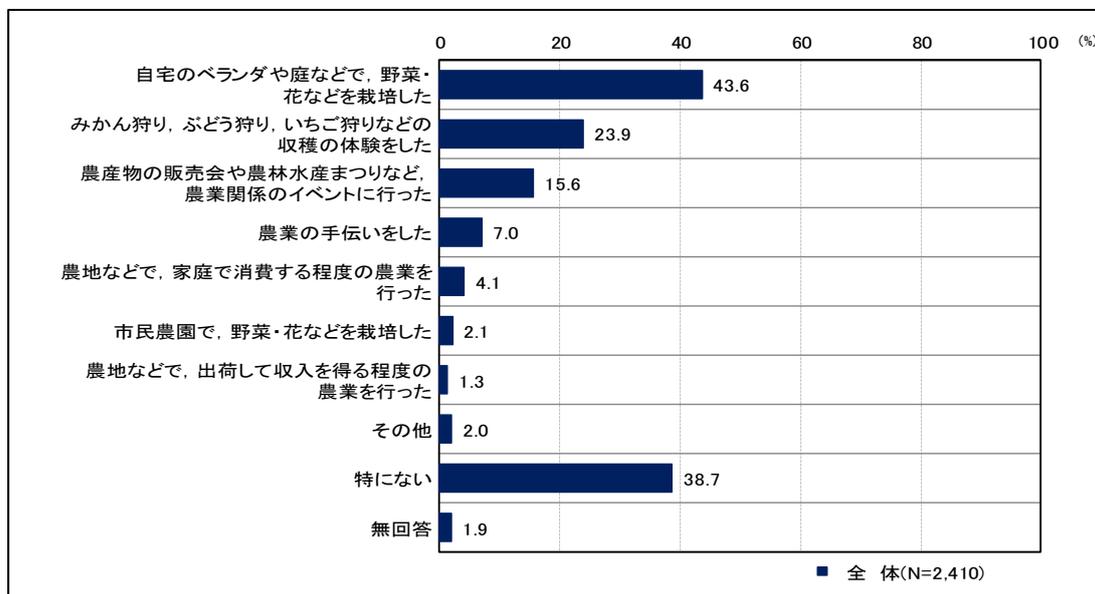
市内産農産物や農産加工品の販売を促進するために、必要な取り組みを聞いたところ、「販売する場所を増やす」が57.4%と最も多く、次いで「市内産であることがわかるような表示をする」(56.9%)、「おいしさや品質を向上させる」(43.4%)となっている。



農業と身近に接した経験

**問** あなたは、過去3年間に、農業と身近に接した経験がありますか。あてはまるものを**すべて**選び、番号に○をつけてください。

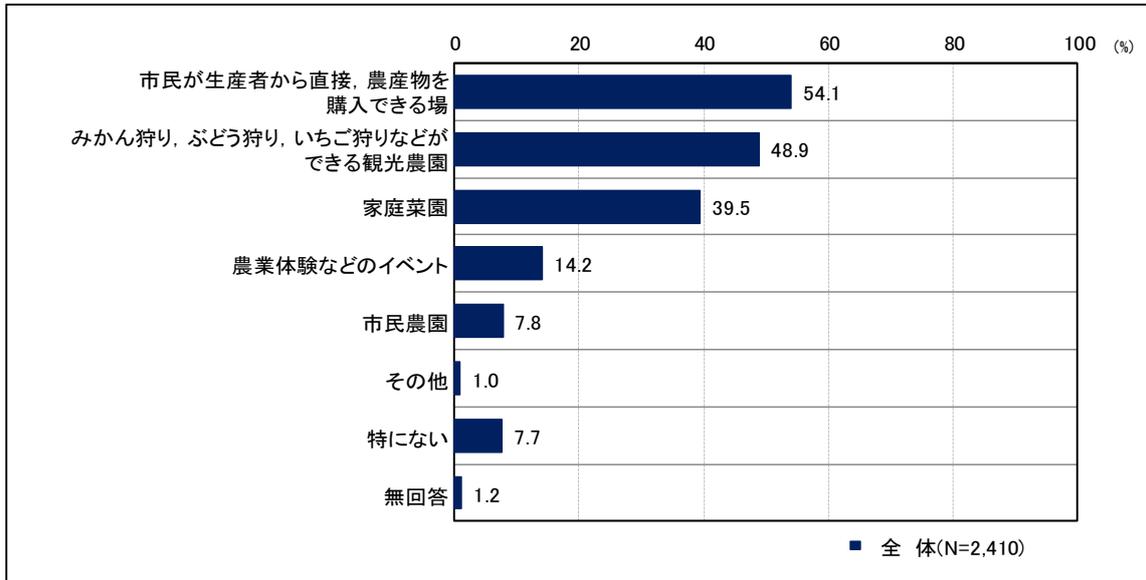
過去3年間に、農業と身近に接した経験について聞いたところ、「自宅のベランダや庭などで、野菜・花などを栽培した」が43.6%と最も多く、次いで「みかん狩り、ぶどう狩り、いちご狩りなどの収穫の体験をした」(23.9%)となっている。



### 農業に接する場として参加しやすいと思う場

**問** あなたが、農業に接する場として、参加しやすいと思うものはどのような場ですか。特にあてはまるものを**2つまで**選び、番号に○をつけてください。

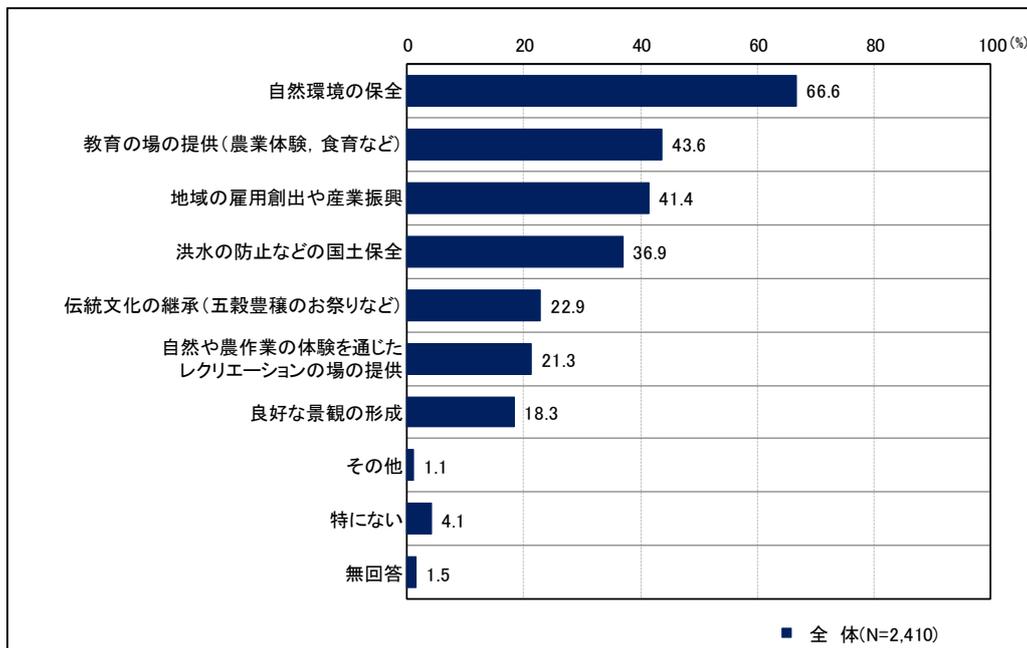
農業に接する場として、参加しやすいと思う場を聞いたところ、「市民が生産者から直接、農産物を購入できる場」が54.1%と最も多く、次いで「みかん狩り、ぶどう狩り、いちご狩りなどができる観光農園」(48.9%)、「家庭菜園」(39.5%)となっている。



### 食料の安定供給以外の農業の重要な役割

**問** あなたは、農業の本来の役割である食料の安定供給のほかに、農業がもつ重要な役割はどのようなことだと思いますか。特にあてはまるものを**3つまで**選び、番号に○をつけてください。

農業の本来の役割である食料の安定供給のほかに、農業がもつ重要な役割を聞いたところ、「自然環境の保全」が66.6%と最も多く、次いで「教育の場の提供（農業体験、食育など）」(43.6%)、「地域の雇用創出や産業振興」(41.4%)、「洪水の防止などの国土保全」(36.9%)となっている。



今後重点的に取り組むべき農業施策

問 福岡市が、今後重点的に取り組むべき農業施策はどのようなことだと思いますか。特にあてはまるものを5つまで選び、番号に○をつけてください。

福岡市が、今後重点的に取り組むべき農業施策を聞いたところ、「安全で安心な農産物供給」が66.9%と最も多く、次いで「食の安定供給」(56.8%)、「農家への経営支援や技術的支援」(38.0%)、「洪水などの災害を防ぐ施設の整備(ため池など)」(34.9%)となっている。

